

寺やお墓参りはご家族でお参りください。
親から子へ、子から孫へと引き継がれます。
寺との関係も自然と理解いただけます。

御礼／お願い

ご紹介 など

御礼・お願い・ご紹介・定例の催しをご案内するページです。
いつも読んでくださる方には、いつものご案内でも、始めて読んでくださる方には、新鮮なご案内です。

※お施餓鬼の受付はサマータイム

お施餓鬼の受付時間は、八月一日から三日までの朝七時から午後一時です。場所は例年と同じ本堂です。午前中は無理という方は、午後でもかまいませんが、山門前の建物にお越しください。玄関右手の呼び鈴を押してください。

※年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈禱・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物を行います。正月祈禱は一年をすがすがしい気分で行うための十分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

※霊園管理費納付御礼

霊園管理費を大多数の方に納付いただきありがとうございます。ただ、数軒のお家で未だ納付いただけていません。

ておりません。お納めくださるようお願いいたします。

振替用紙を紛失された方はお申し出ください。なお、郵便振替の口座番号は（00150・0・372690・松岩寺霊園管理費）です。一般の振替用紙で郵便局の窓口から送金くださっても結構です。

※各家墓所の改修時は

各家の墓所を大きく改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺にご連絡ください。

なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お領けすることができます。詳しい事は寺へ直接連絡ください。

※年忌法要後の食事は寺でもできません

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後のお食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で十八席。三階は畳に座布団で四十名くらいまで会食できます。お使いください。

日曜の朝の坐禅会（八月は休会です）

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください、初心の方にも丁寧に坐り方をご案内します。

三十分ほど坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時には終わりです。

ごいっしょに姿勢をただして、呼吸を調べてみませんか！

教養講座

【金つぎ教室】講師 花輪滋實

第三土曜日 午後一時半～四時半まで

【仏像を彫る会】講師 高野竜生

第二・四日曜日 午後一時半～四時半まで

【声を出して元気になる】講師 加藤純子

月に一度 午後一時半～三時

しょうがんじ だより

平成二十五年夏

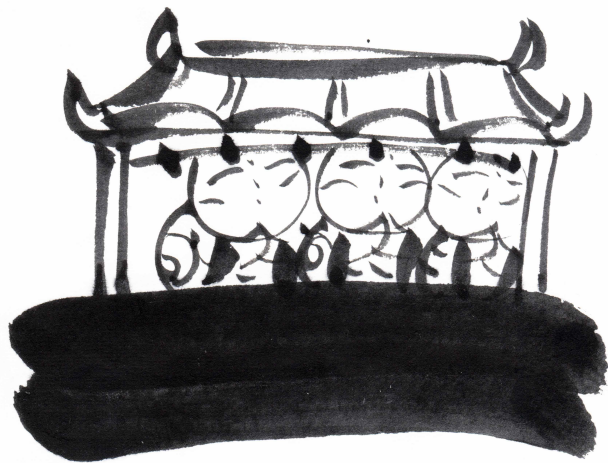
発行 花岡博芳

本堂の内壁を塗り替えて 畳替えをしました

年頭にお知らせしたように、六月初旬に本堂の内壁を塗り替えて、畳替えをしました。今の本堂が完成したのは昭和三十四年です。五十三年来に壁を塗り替えました。畳は二十五年ぶりです。

無精者だから、汚れるにまかせていたのですが、壁を塗り替えるのは大変なんです。すべてを運び出して、創建当初の姿に戻さなくてはならないのです。思いつきでやったわけではなく、数年前から準備していました。

本尊さまもしばし移動しましたが、実を言うとこれ



ほど間近に本尊さまを拜んだ（見た）のは始めてでした。掃除するとき、間近まではいきますが、サッサとほこりを払うだけで、長時間にわたり観察するわけはない。ましてや厨子の裏なんていうのはどうなっているのかわからない。その上、先住職が金欄の幕をかけていたから、よく見えなかったのです。

この幕も痛んできたので、数年前に京都西陣の金欄問屋に新調の見積を依頼しました。しかし、高額な見積書にひるんで、新調しようかどうか迷っていたのです。

でも、急いで新調せず迷っていてよかった。仏像も位牌も香炉も幕もすべてを取り払って、ゼロになって創建当時の姿に戻してみると、何も無くなった本堂はすがすがしい。

禅でいう「無になれ」というのはこのことか。建物を「無」にするのも結構手間がかかるのに、人の心を「無」にするのはどんなに難しいことか！

戸帳や幕の意味は、機会をみつけて書きますが、何もないほうが、本尊さまもよく拝めるし、少しの間はこれでいこうと思います。少しの間とはどのくらいか。この夏の八月十五日にはどうするか。迷っています。

8月13日未明から16日夕方まで、墓地で

はお花とお線香を用意しています。